

Once upon a time in Utunomiya

一枚の絵葉書から 第58回 石井敏夫コレクションより



鉄道倶楽部 大運動会

明治から、大正、昭和時代初期にかけて宇都宮城址旧本丸を会場に、市民による運動会や野球大会、自転車競争、そしてサーカスなどの催し物が盛んに行われた。

今回掲載する絵葉書「鉄道倶楽部大運動会」の開催時期は不詳だが、万国旗がはためくもとたくさんの観客が集まり、運動会のほか仮装大会などの余興で活況を呈したことがうかがえる。鉄道倶楽部は、旧鉄道省

の職員によつて構成されていたものと推察。撮影は、宇都宮市大町の善光館（高井写真店）による。

旧本丸は、公衆園とも呼ばれ、一部の絵葉書には旧城釣天井公園と記されているものも見受けられる。城址内には、明治天皇の「玉座記念碑」、日清戦争の戦利品を陳列した「戦利品陳列館」、料理店「清明亭」などがあった。

また、土塁や堀が旧本丸を囲み、城址の面影をほどよく残していた。



写真① 旧本丸を会場に廣げられた大運動会
写真② 徳義正のスタート
「必勝手形高野」の旗が見える



万歳をする制服姿の職員と、旗と楯を高く掲げる選手たち



服装競争のひとつ



仮装大会で扮装した参加者たち